



地域医療連携室だより Vol. 81

平成 28 年 3 月 1 日発行

発行元 大津市民病院地域医療連携室

住所 〒520-0804

滋賀県大津市本宮二丁目 9 番 9 号

TEL 077-526-8192

<http://www.municipal-hospital.otsu.shiga.jp/>

呼吸器内科

の紹介

呼吸器内科診療部長
平沼 修



呼吸器内科では現在常勤 2 名体制で、主に肺がん・間質性肺炎・COPD・気管支喘息・睡眠時無呼吸症候群・抗酸菌症等の感染症を中心に診療を行っております。かかりつけ医の先生方との連携をさらに深めていく目的で、まず以下の 2 点について重点的に力を入れて行きたいと思っております。

大津市肺がん検診の 2 次精査は当日に CT 撮影し、結果を説明しております。当日予約でも対応させていただきます。半日で完結するよう努力していきます。



スパイロメトリー

潜在的な患者数が多いと言われているタバコ病である COPD については、手間のかからない血液検査・血圧測定で診断できる生活習慣病とは違い、**スパイロメトリー(肺機能検査)**での診断と病期分類となります。喫煙歴のある患者様で、労作時呼吸困難・咳・痰の症状があり、**スパイロメトリー**が必要と判断されたならば、FAX 1 枚もしくは電話 1 本で検査できるようにしていきます。

スパイロメトリーをかかりつけ医の先生方が気軽に利用できるような環境作りに取り組んでいきますので、よろしくお願い申し上げます。

呼吸器内科 外来担当表

	月	火	水	木	金
午前	非常勤	平沼	非常勤	田中理※	平沼

※4 月より新任

大腸 CT 検査スタート！

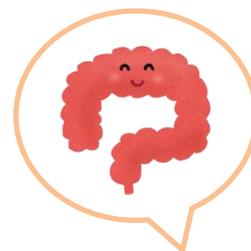
平素より当院の診療にご協力を賜わり誠にありがとうございます。

この度、大腸 CT 検査を導入いたしましたのでご紹介いたします。

近年、大腸がんの罹患者数、死亡者数はともに増加傾向であり、部位別の死亡者数は女性で第 1 位、男性は第 3 位になっています。大腸がん検診の受診率が低いことや、便潜血検査陽性で要精査の結果を受けても二次精査の受診率が低いことが、原因の一つと言われています。

大腸がん検査のゴールドスタンダードは内視鏡検査ですが、肛門から内視鏡を挿入される恥ずかしさや、痛くてつらい検査であるというイメージから受診をためらわれる患者様が多くいらっしゃいます。先生方の日々の診療中にも、できれば検査を受けてほしいのに・・・と、思われる患者様や、心の奥では大腸がんが心配だ・・・と、不安な毎日を送られている患者様はいらっしゃいませんか？

そのような患者様にも大腸内視鏡検査と比較してより簡便に、より安楽に受けることができる検査として、大腸 CT 検査を当院は行っています。



進行大腸がんの 1 例



大腸ポリープの 1 例



予約検査となっています。
地域医療連携室を通して
当院消化器内科外来を
紹介受診ください。
検査についてのご質問・
お問い合わせは、
地域医療連携室まで
ご連絡ください。

大津市民病院大学レポート

滋賀県がんと向き合う週間 協賛事業
大津市民病院大学 公開講座



2月5日(金)に、大津市民病院9階会議室にて、大津市民病院大学公開講座を開催いたしました。

この講座は、滋賀県がんと向き合う週間協賛事業で、講師は当院健診センター所長・外科医長の洲崎 聡 医師、テーマは、「受けていますか？がん検診～がんの早期発見、早期治療のために～」、参加者は院内11名、院外42名の計53名でした。

内容は、日本のがん事情から、がん検診の効果が科学的に証明されている主要5大がんやその検診を中心に当院の健診センターについても触れられ、受講者の皆様からも、

「丁寧に分かり易い内容で、早期発見の大切さがよく分かった」「内容が充実し、とても勉強になる講座だった」と大変好評でした。



がん検診スヌメ隊



滋賀県のがん検診受診率のアップを目指して、がん患者の団体や、医師会、県内の企業で結成した団体で行っているキャラバンイベント、がん検診スヌメ隊が、2月6日(日)大津市のフォレオー里山で開催されました。

がんに関する〇×クイズやちびっこじゃんけん大会、Lefaのコンサートの他、医師によるトークショーが行われ、当院の加納 正人 医師が出演しました。

大津エリアでは胃がん・乳がん検診の受診率の低さが目立つということで、若いときからのがん検診の受診を呼びかけていました。

お買い物途中の方も立ち止まり、熱心にお話を聞かれている姿が印象的でした。



2年目研修医からの手紙



医師会の先生方には地域医療研修などで大変お世話になりました。ありがとうございます。

おかげさまでもうすぐ無事2年間の研修を終えることができます。そこで2年目研修医より、それぞれ学んだことや気づいたことを述べさせていただきます。



岩本 久幸

2年間の初期研修を修了させていただくにあたり、この2年間の研修生活を振り返ってみると救急でプライマリケアを学び、内科研修で入院患者の検査・治療・退院に際して必要な地域連携について学び、地域研修で退院後の通院や在宅医療を学び、集中治療・麻酔・外科研修で重症患者の管理や周術期管理を学びました。

各科のローテートでは外科を志す上で今後学ぶ機会の少ない内科系の疾患を始め、多くの疾患を学ぶ機会に恵まれ充実していたと思います。それでもまだまだ経験も浅く、知識も十分ではありませんが、多くの患者様から学ばせていただき、諸先生方からの熱いご指導を受けて邁進してきたこの2年間得た知識や手技、心構えをもって、消化器外科医としてさらに精進していきたいと思っております。

第23回総合内科症例検討会を開催します

日時: 3月10日(木) 17時30分～(約1時間)

場所: 大津市民病院9F 大会議室 A・B

テーマ: 「有痛性の皮疹と肝障害のため紹介受診した
高齢女性の一例」

症例提示: 臨床研修センター 藤田 覇留久 研修医

公開講座としておりますので、院外からも多数のご参加をお待ちしています。

地域の皆様には日頃よりお世話になり有難う御座います。

私はこの2年間、大津市民病院で初期研修をさせて頂きました。

学生から医師になり、大津の皆様には尽力しようと望んだ初期研修でしたが、蓋を開けてみれば患者様や先生方から教わることばかりでただただ感謝いたしております。地域の皆様には日々の診療を通しては勿論、地域医療実習では実際に地域医療に参加させて頂くことでとても貴重な経験をさせて頂きました。

患者様から周りのスタッフの方々まで心温かい方ばかりで、大津市民病院での研修は楽しく、とても充実した日々となりました。

4月からは小児科に進むことを決めております。小児救急医療を学びたく、来年度からは滋賀県を離れますが、一人前になった暁には大津の皆様には恩返しができるかと思っております。

2年間大変お世話になりました。今後とも宜しくお願い申し上げます。

木下 正和





澤崎 史弥

平素より大変お世話になっております。

大津市民病院での初期研修を終えて、来年度より麻酔科医として滋賀医科大学附属病院で勤務させて頂くこととなりました。

大津での研修の日々は、御指導いただいた先生方やスタッフの皆様をはじめ地域の多くの人に支えられとても充実したものとなりました。

大津市民病院での研修や地域医療実習を通して学ばせていただいたことを活かし、大津のそして滋賀県の医療に貢献することが出来ればと思っております。

本当にありがとうございました。今後とも宜しくお願い申し上げます。



藤田 覇留久

2年間大津市民病院で初期研修をさせて頂きました。初めは当直や病棟業務など慣れないことが多く、皆様にはご迷惑をおかけしましたが、上級医の先生方やコ・メディカルの方々に温かくご指導頂き、また地域の皆様や患者様に支えられながら、今では多少なりとも皆様のお役に立てているのではないかと思います。

当直業務については月4・5回の夜間当直を経験することで様々な症例に出会いかなりの力がついたと思います。3年目からは上級医として研修医を教える立場になり不安もありますが、精進したいと思います。

外科を志し、2年間研修をさせて頂き、3年目からは引き続き大津市民病院の外科でお世話になることとなりました。2月から外科研修をさせて頂いておりますが、多くの手術に参加・執刀させて頂き、非常に勉強になっております。

3年目からは初期研修とは異なり、さらなる責任を背負うこととなりますが、2年間の経験を活かして市民の皆様のお役に立てるよう精進する次第です。これからも宜しくお願い申し上げます。

渡邊 幸香



初期研修2年間を大津市民病院でお世話になりました。

現場の実際を無知の状態でご迷惑をおかけする場面も多々ありましたが、周囲の方々はいつも温かく手厚いご指導をしてくださりました。

その支えの中で貴重な経験を重ねることができ、大津市民病院の皆様には心から感謝しております。

今後の理想の医師像を自分の中で定め、その目標に向かって努力し続けていきたいと思っております。

2年間、本当にありがとうございました。

杉本 博子



私は京都府立医科大学附属病院のたすきがけ^{※1}で、2年目の研修を大津市民病院でお世話になりました。

研修医の2年間で得た経験を生かし、受診された患者様に笑顔で帰っていただけるよう、最善を尽くしたいと思っております。

※1 たすきがけ: 当院採用の研修医は原則として2年間当院で研修しますが、大学病院(当院では京大、府立医大)採用の研修医が1年目か2年目の研修を当院で行うこと。

私は京都府立医科大学の研修プログラムの一貫として1年目は大学で研修を行い、2年目に当院で研修させて頂くことになりました。

はじめから整形外科を志していたため、この病院ではかなりの期間を整形外科研修させて頂きました。何もわかっていない私に丁寧に教えて頂いた小橋部長をはじめとした整形外科スタッフの皆様、病棟の看護師の方々、手術室のスタッフの皆様、本当にありがとうございました。色々どんくさいことをしてかして大津市民病院のスタッフの皆様には大変ご迷惑をおかけしたかと思っておりますが、そんな私にも優しく接して頂いたため私自身はこの1年楽しく仕事をさせて頂くことができました。

今後は大阪の病院で、整形外科の後期研修医として新しい一歩を踏み出す予定です。この病院で学んだことを糧として次もがんばってまいります。1年間ありがとうございました。

井上 亮



地域の皆様には日頃よりお世話になり、温かいご指導ありがとうございます。

私は去年京都の大学病院で研修し、今年の1年間大津市民病院で研修をさせて頂きました。病院、住む場所が変わり、慣れない環境でしたが患者様や先生方から優しく頂いて、そのおかげでこの1年間頑張ることができました。地域医療実習では実際に地域医療に参加し、普段経験することのできない地域医療に関わらせていただき、地域医療に参加して、改めて地域医療の大変さ、そして素晴らしさを学ばせていただきました。患者様、指導して下さった先生方、周りのスタッフの方々は本当に優しく、大津市民病院での研修はとても充実していて勉強になる日々でした。

4月からは地元である大阪に戻るの大津を離れますが、いつか何らかの形で、大津でお世話になった皆様に恩返しをしたいと思っております。この大津市民病院で研修できて本当に良かったと思っております。1年間と短い期間でしたが本当にありがとうございました。

尾崎 香子

